

第3次厚木市教育振興基本計画・厚木市教育大綱（案）に対する パブリックコメントの実施結果について

1 意見募集期間

令和7年12月1日（月曜日）から令和8年1月5日（月曜日）まで

2 意見の件数等

- (1) 意見をいただいた人数 24人
- (2) 意見の件数 48件
- (3) 案に反映した意見の数 3件

3 意見と市の考え方

別紙1「意見の概要及び市の考え方」のとおり

4 その他意見（対象外：8件）

厚木市市民参加条例第10条に規定するパブリックコメント手続として御意見をいただきましたが、次のいずれかに該当するため、本パブリックコメント手続の対象外となった意見について公表いたします。

- 厚木市市民参加条例施行規則第4条第1項に規定する提出方法との相違
- 厚木市市民参加条例施行規則第4条第2項に規定する項目の不備
- 自治基本条例第3条第1号に該当しないもの

別紙2「その他意見の概要及び対象外の理由」のとおり

5 お問合せ先

- (1) 担当課名 教育総務課
- (2) 連絡先 046-225-2663

6 結果公開日

令和8年3月4日 公開

別紙1 「意見の概要及び市の考え方」

No.	意見の概要	市の考え方	反映したものの
計画全体について			
1	<p>「児童」「生徒」の表現について 計画全体を通して「児童」「生徒」という言葉が使われていますが、一般市民にとっては、それぞれが小学生・中学生を指しているのかが分かりにくいと感じました。文脈から理解できる部分もありますが、読み始めた段階では少し戸惑う場面もありました。どこかで一度、「児童は小学生、生徒は中学生」という説明があると、より安心して読み進められるのではないかと思います。</p>	<p>本計画（案）では、学校教育法に基づき「児童」は小学校段階のこども、「生徒」は中学校段階のこどもを指して使用していますが、御指摘のとおり、読み始めの段階では分かりにくい場合があることを踏まえ、本計画（案）の冒頭で用語について明記するよう修正を行います。</p>	○
2	<p>子ども達の健やかな成長につながり、とても良いと感じています。</p>	<p>パブリックコメントでいただいた御意見を踏まえ、本計画（案）がこどもから大人までの学びや成長につながるものとなるよう、着実に施策を推進します。</p>	
3	<p>とてもよいと思います。</p>		
4	<p>これからの社会は、大人と子ども、多様な立場の人々が、それぞれの立場で力を発揮し、協働しながら創ることが大切だと思います。「未来を創る人づくり」という基本理念は、現在より、より柔軟でクリエイティブなイメージがあり、とてもいいと思います。</p> <p>また、挑む力、つながる力、築く力は、現行を引き継ぎつつ、さらに進化させた視点が入っているので、次の時代の計画として、ふさわしいと思いました。</p> <p>子どもたちを取り巻く環境は、厳しくなっており、学校・家庭・地域がつながりを深め、関わっていくことが求められています。また、様々な角度で支援することで、学びの土台となる安心・安全に学ぶ環境が整うと思います。</p> <p>その点でも4つの基本方針は、心強い内容だと感じました。</p> <p>この計画を、子どもたちの教育につなげていくために、市民にわかりやすくPRできるといいと思います。</p>	<p>本計画（案）の基本理念である「未来を創る人づくり」や、「挑む力」、「つながる力」、「築く力」については、これからの社会において、主体的に未来を切り拓き、多様な立場の人々がそれぞれの力を発揮し、協働しながら未来を創っていく人材の育成を目指すことが重要であると考え設定しました。</p> <p>また、こどもを取り巻く環境が変化する中で、家庭・地域・学校が連携し、様々な角度から支援を行うことは、安心・安全な学びの環境を整える上で、重要であると考えています。</p> <p>今後、計画の取組を着実に推進するとともに、市民の皆様に分かりやすく伝えられるよう、周知・広報に努めます。</p>	

No.	意見の概要	市の考え方	反映したものの
5	<p>厚木市教育大綱と統合したのは、わかりやすくてなってよい。</p> <p>厚木市総合計画等の関連計画と整合を図るようにしたのも市全体の取組として大切なことだと思う。</p>	<p>本計画（案）は、教育施策の方向性をより明確に示し、わかりやすくなるよう教育大綱と統合し、本市の教育行政における共通の指針としたものです。</p> <p>また、市総合計画を始めとする関連計画との整合についても、本市の将来像や施策の方向性と連動しながら、教育分野の施策を総合的かつ効果的に推進していくことを目指します。</p> <p>今後も、関係部署間で連携しながら、教育施策の着実な推進に努めます。</p>	
基本理念について			
6	<p>基本理念の「未来を担う人づくり」の「担う」を「創る」に変えたのは適切である。</p> <p>「挑む力」「つながる力」「築く力」いずれも大切な力だが、特に「つながる力」の意味はあると思う。</p>	<p>本計画（案）では、これからの社会を主体的に切り拓いていく人材の育成を目指し、基本理念を「未来を創る人づくり」としました。</p> <p>また、多様な価値観を持つ人々と関わり合い、協働しながら課題解決を図る「つながる力」は、今後ますます重要になるものと認識しています。</p> <p>今後も、社会の変化を踏まえながら、未来を創る力を育む教育の推進に努めます。</p>	
基本方針について			
7	<p>基本方針を4つにまとめたのも、わかりやすくなってよい。</p> <p>基本方針につながる各施策はどれも重要だが、各施策が厚木の教育のために有効に機能するように、学校や関係機関と連携を密にしながら予定している「計画の推進」を着実に進めていっていただきたい。</p>	<p>わかりやすく、実効性のある計画とするため、基本方針を四つに整理しました。</p> <p>施策の着実な実施と進捗管理を行うとともに、学校や関係機関と連携を図りながら、教育施策の効果的な推進に努めます。</p>	

No.	意見の概要	市の考え方	反映したものの
基本方針1について			
8	<p>15・16 ページの「2040 年以降の社会」という表現について</p> <p>15 ページ及び 16 ページにおいて、「2040 年以降の持続的な社会の創り手」や「2040 年以降においてグローバルに活躍できる人材」といった表現が用いられていますが、少し違和感を覚えました。これらは 2040 年以降に限らず、それ以前から必要とされるものではないのでしょうか。2040 年以降に限定する必要があるのでしょうか。</p>	<p>16 ページの基本方針1「児童・生徒に必要な資質・能力の育成」の施策1【施策の方向】に記載している「2040 年以降」という表現は、御意見のとおり、必要な資質・能力の時期的な限定と受け取られる可能性があることから表記を削除します。</p> <p>また、15 ページ「施策の展開」に記載している「2040 年以降」という表現については、2040 年を見据えての取組であるため、修正しました。</p>	○
9	<p>具体的な学習内容だけではなく物を大切にす、整理整頓をする、そういった日本人としての道徳観を育てる根本的な教育としての学校の設備や美化も視野に入れてほしいです。</p>	<p>市立各小・中学校では、児童・生徒一人一人がより良く生きるための基礎となる道徳性を養うため、授業だけでなく、学校生活全般を通じて道徳教育を行っています。</p> <p>今後も、家庭・地域・学校が協力して、道徳的な心の育成に努めます。</p>	
10	<p>核家族、ひとりっ子など繋がりが薄い現状</p> <p>人との付き合い方を地域、学校、友達、家庭で深く付き合える、分かち合える力を育てられたらです。</p> <p>人との付き合い方を知らないと、人に優しく出来ない、自分本位になりがち。現在わが子で悩んでいるところです。</p>	<p>市立各小・中学校では、インクルーシブ教育の理念に基づき、児童・生徒が互いの違いを認め合いながら学ぶ機会を大切にしています。あわせて、人権教育や道徳教育などを通じて、相手の気持ちを考えること、人との関わり方を学ぶ指導を行っています。</p> <p>今後も、児童・生徒が人とつながる力を身に付けられるよう、豊かな心の育成に努めます。</p>	

No.	意見の概要	市の考え方	反映したものの
11	給食の人気メニューを少しいつもの量より増やしていただいていると思うのですが（パスタやめん、カレーなど）人気のないメニュー（魚など）は少し量を減らすことで食品ロスを減らすことが出来るのではないのでしょうか。	給食の献立（メニュー）によって、残さ（食べずに残されたもの）が多くなることは把握していますが、学校給食の献立は、児童・生徒の健全な成長に必要な栄養価や量を考えて調理していますので、少しでも食べやすくなるよう工夫を凝らしながら提供していきます。	
基本方針2について			
12	基本方針2「安心・安全に、共に学ぶことができる教育環境の整備」の予算を十分に確保し、「子育て・教育で選ばれるまち」の実現に向けた取組を強力に進めてほしい。	教育環境の整備については、施設整備など多額の費用を要する事業もありますが、必要な予算の確保に努め、「子育て・教育で選ばれるまち」の実現に向けた取組を計画的かつ効果的に進めます。	
13	<p>18 ページ 基本方針2のリード文について</p> <p>基本方針2の冒頭部分について、「全てのこどもが多様性を尊重し、互いに高め合い、」という表現と、その後続く「安心・安全に学べる～環境整備に取り組めます」という文章のつながりが、やや分かりにくいように感じました。</p> <p>また、「互いに高め合い」とありますが、何をどのように高め合うのかが分かりにくい印象を受けました。</p>	<p>基本方針2のリード文は、全てのこどもが多様な価値観や背景を持つ他者と関わりながら、学び合い、支え合い、認め合うことを通じて成長していく姿を「互いに高め合い」という言葉で表現したものです。これは、学力向上に限らず、社会性や自己肯定感など、こども一人一人の多様な力を育むことを意図しています。</p> <p>「互いに高め合い」の具体的な意味や、その後の記述とのつながりが分かりにくいとの御意見については、分かりやすくなるよう修正を行います。</p>	○

No.	意見の概要	市の考え方	反映したものの
14	<p>学校の設備を刷新してあげてほしいです。</p> <p>参観日やボランティアで学校に行くと、ボコボコで錆びて棚板も歪んだ靴箱、取っ手が全部取れていてロックのかからない勝手に開いてしまう掃除道具ロッカー、取っ手のとれたぼこぼこのちりとり、ロッカーの取っ手部分はガムテープでケガしないように覆われている。</p> <p>ボロボロで歪んだ石鹸ネットに入ったカサカサのレモン石鹸…昭和か？と疑いたくなる時代遅れ感。</p> <p>故障しているのに廃棄もされずに収納場所に入りきらず場所だけ取って邪魔な業務用掃除機3台(処分するにも申請が必要らしく校長が変わるたびに引き継ぎされず放置されている)</p> <p>体育館の緞帳がビリビリでこれも何年も何年も放置されている…入学式や卒業式という大事なセレモニーの場所なのに、あまりにお粗末な舞台。</p> <p>厚木市は財政がそこまで苦しくないと広報で公開しているはずなのに未来を担う子供たちへの投資が少なくあまりにひどすぎます。破れた緞帳や閉まらない掃除道具入れ、すでに物を大事に扱うというレベルの範疇を超えています。こんな環境を「我慢」するしかない子供がひどく不憫です。こんな環境では心も荒みます。(割れ窓理論のはじまりと言っても過言ではないと思います) どうして誰も改善しようとしないのでしょうか？壊れた掃除機を数年も放置している大人が子供達へ整理整頓の大切さを説けるでしょうか？どうか市内全校改善して欲しいです。</p>	<p>学校の備品や施設・設備については、市立各小・中学校からの要望を基に教育委員会が内容を精査し、計画的に整備・修繕を行っています。</p> <p>体育館ステージ幕については、令和7年度、小学校5校で修繕を実施しています。</p> <p>備品については、老朽化の状況や必要性を踏まえて購入するとともに、他校で使用しなくなった備品のリユースによる活用もしています。</p> <p>改善には一定の時間を要しますが、児童・生徒が安心して学べる教育環境の確保に向け、引き続き計画的な改善に努めます。</p>	

No.	意見の概要	市の考え方	反映したものの
15	<p>修学旅行費が年々高くなっていて保護者負担が大きい。</p>	<p>修学旅行費の高騰により、保護者負担が大きくなっていることは認識しています。</p> <p>修学旅行の教育的意義を踏まえつつ、内容や実施方法の工夫など、市立各小・中学校と協議していきます。</p>	
16	<p>選択可能な部活が学校によって差がありすぎるので部活によっては学校毎ではなく近い地区毎に子どもをまとめて荻野運動公園や民間のプールを使ってやりたい部活をやらせてあげて下さい。学校単位での大会ではなく例えば厚木市といったチームで出場出来る様にする事。</p>	<p>児童・生徒の活動の選択の幅を広げたり、学校単位にとられない活動を実現したりするため、国や県の方針に基づき、今後、学校部活動から地域クラブ活動への展開を図ります。</p> <p>また、市全体での参加形態については、関係部署間で連携しながら検討していきます。</p>	
17	<p>地域のクラブ活動の強化</p> <p>小学生から中学生になっても継続できるクラブがもっと身近にあると良いなと感じています。子どもがバレーボールをやりたいが、自宅の近くにクラブがなく仕事で送迎も難しく希望を叶えてあげたいが現実難しいです。中学校での部活動も少なくなってきたので、地域に移行、委託してもっとたくさんのクラブを作って子どものやりたいことが伸ばせる場が欲しいです。</p>	<p>将来にわたって、スポーツや文化活動を継続できるよう、国や県の方針に基づき、今後、学校部活動から地域クラブ活動への展開を図ります。</p> <p>展開をするに当たっては、関係部署間で連携しながら、児童・生徒の多様なニーズに応じた活動を行うことができる環境を整備できるよう検討していきます。</p>	
18	<p>部活動の地域移行を進めてほしい。</p>		
19	<p>中学校の教室が寒すぎるので勉強に集中できません。</p> <p>暖房はつけてはくれるのですが、廊下側の方は寒がっています。</p> <p>私は窓側で暖房が当たり暖かいのですが、換気もしているので風が入り寒いと感じる時もあります。</p> <p>あと、体育館にもエアコンがついたから暖房入れて欲しいと思います。(出来ればでいいです)</p>	<p>快適に学習できる環境を確保するとともに、エネルギーの使用を抑え、環境への影響にも配慮しながら、教室や体育館にエアコンを設置し、運用しています。</p> <p>教室は広いため、暖房の効き方に差が生じ、窓側や廊下側で寒さの感じ方が異なる場合があります。寒いと感じる場合は、服装での調整や、必要に応じて先生に相談してください。</p> <p>また、冬季の体育館エアコンについては、全校集会など体を動かさない場面では使用し、体育の授業や部活動など体を動かす場面では使用を控えるなど、快適性と環境の両立を考えた運用を行っています。</p>	

No.	意見の概要	市の考え方	反映したものの
20	<p>体育館を広くしてほしい。体育館に全校生徒が入ると身動き取れないぐらい狭い。</p>	<p>現在の体育館の広さは、体育の授業を安全に行うために必要な範囲で設計されています。そのため、全校生徒が一度に集まると手狭に感じられる場合があります。</p> <p>施設を建て替えることは難しい状況ですが、行事や集会の際に、時間を分けて利用したり、人数を制限したりするなど、現状の体育館で安全に実施できる工夫を行い、対応していただきたいと考えています。</p>	
基本方針3について			
21	<p>地域行事に積極的に参加してもらうために、地域行事ポイントを作りたいです。</p>	<p>地域行事への参加を促進し、地域とのつながりを深める取組はとても重要です。また、地域への理解やつながりを深めることは、教育の視点からも重要であると認識しています。</p> <p>御提案いただいた内容については、地域と連携した取組を検討する際の参考とさせていただきます。</p>	
基本方針4について			
22	<p>運動する習慣をつけるために、モルック大会を増やして欲しいです。そして、モルック教室、モルッククラブも作って欲しいです。</p>	<p>本市では、スポーツなじみDAYやあつぎスポーツレクリエーションフェスティバルなどのイベントにおいてモルック体験を実施しているほか、各地区公民館でモルック教室を開催しています。</p> <p>また、市民スポーツ大会では令和6年度からモルックを競技種目として導入しており、市主催以外のモルック大会等についても情報発信を行い、モルックの普及・啓発に取り組んでいます。</p> <p>今後も、既存の取組の充実や関係団体との連携を図りながら、モルックを始め、市民の皆様が気軽に運動やスポーツに親しめる機会の充実に努めていきます。</p>	

No.	意見の概要	市の考え方	反映したものの
23	<p>本をもっとたくさん読みたい。 (学校や図書館の本でだいたい興味があるものは読んだので、新しい種類の本や量を増やして欲しい)</p>	<p>学校図書館では、選定基準に基づき、児童・生徒の興味・関心や学習活動に配慮しながら、蔵書の分野のバランスを考えて整備しています。読みたい本や分野については、学校図書館の先生や担任の先生に伝えていただくことで、今後の図書選定の参考としていただいています。</p> <p>市立図書館では、こどもの興味・関心や利用状況を踏まえながら、蔵書の充実に努めています。また、読みたい本が所蔵されていない場合には図書のリクエストも受け付けており、できる限り希望に応えられるように取り組んでいます。さらに、電子図書館サービスも提供しており、読みたいときにすぐ本に出会える環境を整えています。</p> <p>現在整備中の未来・図書館では、こどもが「本を選ぶ楽しさ」や「新たなことを知るよろこび」に出会える場づくりを目指しており、これまで出会えなかった本に触れられる環境を整備していく予定です。</p> <p>今後も、学校図書館と市立図書館がそれぞれの役割を果たしながら、こどもがより多くの本と出会い、読書を楽しめる環境づくりに取り組みます。</p> <p>本を読むことは、知識を得るだけでなく、表現力を高めたり、創造力を豊かにしたりと、たくさんの力が身に付き、人生を豊かにしてくれます。興味がある本に加え、いろいろな分野の本に触れ、新しい世界を体験していただきたいと思います。</p>	
24	<p>アートや音楽(コンサートなど)に触れる機会、また自分で描いてみる演奏してみる機会を増やしたい。(情操教育)</p> <p>それに伴う学校の図工の時間の自由度を上げる。(色や紙が指定されていて自分で選択できない。そのため作品が似ているので、もっと自主性があつた方がよい)</p>	<p>本市では、一流アーティストによるアート制作やコンサートなどの鑑賞を始め、作品制作などの体験型ワークショップを多数実施しています。文化芸術の鑑賞や体験は情操教育の観点から重要であると認識していますので、更に充実するよう取り組んでいきます。</p> <p>また、学校においても、児童・生徒の主体性を育む多様な学びの重要性が高まっていますので、各教科における体験活動等の充実を図ります。</p>	

No.	意見の概要	市の考え方	反映したものの
その他			
25	もっとタブレットやパソコンを使ってゲーム感覚で学校だけではなく家でも楽しく勉強出来るようにする事。	市立各小・中学校では、児童・生徒一人一人の状況に応じて、GIGAスクール端末を活用した授業を行っています。また、端末を持ち帰ることで家庭学習での活用も可能ですので、今後も主体的に学べるよう、効果的な活用について検討していきます。	
26	全国で自分の実力がどの程度分かる様にする事。	自分の学力が全国でどのくらいの位置にあるのかを把握するものとして、「全国学力・学習状況調査」があります。 調査結果は、自分の実力が分かるようになっている分布図が示されており、市立各小・中学校では児童・生徒に個人票を返却する際に、その見方を説明しています。	
27	小学校のクラスは、40人以上になったら2クラスでなく、35人以上になったら2クラスにして欲しい。 39人で1クラス、昔は普通でしたが、やはり先生の目が行き届かないと感じる。	公立小学校で学級人数の上限を40人から35人に引き下げる法改正に伴い、令和3年度から5年間かけて段階的に実施し、令和7年度全学年で完了しています。 引き続き、児童・生徒一人一人に目が行き届く学習環境の確保に努めます。	
28	1クラスの生徒数を減らしてほしい。GIGAスクール端末保管庫が入り更に狭い。	現在、中学校の通常学級は、1学級当たり40人を上限としていますが、法改正により、令和8年度から1年生を対象に35人学級を導入し、段階的に3年生まで35人学級とする予定です。 ICT機器の導入等教室環境が変化していることも踏まえ、生徒一人一人が学びやすい学習環境の確保に努めます。	
29	学校の先生を増やして欲しいです。	教員の増員は、重要な課題であると認識していますが、国や神奈川県との配置基準があり、直ちに対応することは難しい状況です。 非常勤、臨時的任用教員や教員をサポートする支援員等を配置するとともに、教員の働き方改革に取り組み、業務負担を軽減することで、教員が児童・生徒一人一人と向き合える時間の確保に努めているところです。	
30	小学校の先生の人数が、もっと増えたら良いなと思います。		
31	教育現場の教員数が足りていないので増やして欲しい。		

No.	意見の概要	市の考え方	反映したものの
32	教室に入れたい生徒を受け入れる別室に対応職員を配置してほしい。	職員の配置は、国や神奈川県との配置基準によるため直ちに対応することは難しい状況ですが、非常勤、臨時的任用教員や教員をサポートする支援員等の活用を含め、きめ細かい対応ができるよう努めていきます。	
33	<p>様々な事情で学校へ行くことができない子どもたち（不登校）の居場所について、学校の中の環境がさらに充実するよう、支援員の拡充が必要です。例えば週5日、朝から下校まで、など学校のニーズに合わせて体制を作れるよう、市独自で人員の確保ができれば理想的です。</p> <p>（義務教育の時期は子どもにとって、とても重要な時期です。市内多くの小中学校において現状の人員では対応が追いつかない現状があります。孤立させずに学習の機会や家族以外の人との関わりの機会がいつでも公教育の場にある、という環境が必要だと考えます。そうした環境を設けた上で、更に各学校で課題を共有、議論をして、子どもたちが行きたくなる教室、学校をつくっていく必要があると思います。）</p>	<p>市立各小・中学校においては、学校の実情に応じた環境整備を行うことで、校内の居場所づくりの充実に努めています。不登校や教室に居づらい生徒の居場所として設置した中学校フリールームのモデル校4校には非常勤講師を配置し、教室以外で安心して学べる環境づくりを行っています。</p> <p>また、市立全小・中学校に支援員（こころスマイル支援員）を配置し、登校が困難な児童・生徒の支援を行うとともに、児童・生徒や保護者の皆様が気軽に相談できる体制を整えています。</p> <p>さらに、青少年教育相談センターに、不登校児童・生徒に対する校外での多様な学びの場として、教育支援教室（なかま教室・なかまルーム）を設置しています。</p>	
34	<p>小学校に通う児童の保護者です。今年の9月に子どもが学校内で永久歯の前歯を折るケガをしました。その際、折れた歯を担任も養護の先生も誰も探してくれる対応をされませんでした。学校で起きたこととは言え昼休みだったから学校は責任がない、関係ないといった様子で学校から謝罪が一切なく非常に不快でした。</p> <p>保健室からのスポーツ保険の紙もメモの一言もなく紙切れのみはいついて。子どもたちが安全安心に過ごせるよう、怪我をしてしまった際の当たり前の対応、緊急時の対応等もう少し徹底してもらいたいです。不信感しかありません。永久歯が折れる怪我をして、周りの大人が探してもせずは言葉を失います。</p>	<p>学校管理下において発生したケガへの対応により、学校に対する不信感を抱かせてしまい、お詫び申し上げます。</p> <p>本件については、学校から状況を聞き取り、対応内容について確認の上、必要な見直しを行うよう指導・助言を行いました。</p> <p>学校管理下におけるケガや事故が発生した際には、速やかな応急対応を行うとともに、保護者の皆様への適切な連絡や関係機関との連携を含め、状況に応じた適切な対応を行うことが必要であると考えています。</p> <p>いただいた御意見を踏まえ、今後、市立各小・中学校に対し、ケガや事故発生時の対応手順や緊急時の体制について改めて確認を行い、適切な対応が行われるよう周知・指導に努めていきます。</p>	

No.	意見の概要	市の考え方	反映したものの
35	<p>「未来を創る人づくりのために取り組む四つのこと」で、「1. 子供たちに必要な力を育てる」の元気な体を作るために必要な事の一環として、食事が大切だと思うのですが、私の通っている中学校では給食の時間と決められた中で給食を「食べられる」時間が多くて20分しかありません。食べるのが遅い人もいるし、「よく噛んで食べましょう」なんて言ってる割にはそんな時間なんてそもそも無いのではないのでしょうか？せめて給食当番などの準備の時間を含めて通常の授業と同じく50分ほど欲しいです。食べる時間は30分程度あればいいと思います。時間を調節するのが難しいというのは分かりますがどうかよろしくをお願いします。</p>	<p>給食時間は、準備・喫食・片付けを含めた時間として市立各小・中学校が設定しており、時間内で少しでも落ち着いて食事ができるよう配慮しています。</p> <p>いただいた御意見は、市立各小・中学校の教育活動の参考とさせていただくため、学校と共有していきます。</p>	
36	<p>給食の納豆を再開してほしいです。</p>	<p>学校給食では、多様な食品に触れてもらいたいという考えの下、献立を作成しています。</p> <p>納豆は、タンパク質や鉄分、カルシウムなどが豊富で栄養価に優れた食品ですが、納豆に限らず豆類は苦手な児童・生徒が多い食品であるため、少しでもおいしく食べてもらえるように献立を工夫していく中で、納豆の提供回数が少なくなっています。</p> <p>今後も、児童・生徒においしく食べてもらえるよう工夫しながら、成長に必要な栄養価を満たした献立作りに努めていきますので、御理解ください。</p>	
37	<p>火の鳥などの名作の古い本を、学校の図書館でおすすめしてほしいです。</p>	<p>学校の図書館では、担当教員や学校司書、図書委員の児童・生徒が中心となり、季節や行事、学習内容に合わせたおすすめの本を紹介しています。</p> <p>いただいた御意見は、おすすめの本を選ぶ際の視点の一つとして担当教員や学校司書と共有していきます。</p>	

No.	意見の概要	市の考え方	反映したものの
38	夏のラジオ体操を遅めて欲しいです。	ラジオ体操は、市が所管する関係団体が主体となって実施しており、開始時間等も地域で決めています。 夏のラジオ体操は、こどもたちが夏休み中も生活習慣を維持し、心身ともに健康に過ごせるように行われています。早朝に実施するのは、身体を目覚めさせ、より一日を元気よく過ごせるため、気温が上がる日中より安全に実施できるためでもありますので、御理解ください。	
39	このフォームもGIGAスクール端末で回答出来るようにしたらもっと意見が集まると思います。(学校でアンケートの時間を取ることは簡単だと思います)	GIGAスクール端末を活用した意見募集は、より多くの御意見をいただける可能性があるとは認識していますが、学校の限られた授業時間の中でアンケートの時間を確保することは難しい状況ですので、御理解ください。	
40	学校の業間休みと昼休みの時間を5分ずつ増やして欲しい。 (遊びも学びに大切だが、いつも遊びが途中で終わってしまうため)	小・中学校における年間の授業時数や1単位時間は、国の学習指導要領により定められており、1日の授業時数や下校時刻との関係から、業間休みや昼休みの時間を一律に5分増やすことは難しい状況です。 一方で、休み時間の遊びや交流は児童・生徒の成長にとって重要と考えますので、休み時間の確保や過ごし方について学校と共有していきます。	
41	学校と保護者の連携 学校に勤めていて、朝登校していない生徒に電話連絡をしても繋がらない家庭がある。学校には欠席連絡フォームというメール連絡もあるが、それにも入っておらず、所在不明のまま放置されてしまう子どもがいる。このような家庭の傾向はここ数年確実に増えている。共働きが当たり前になり、家庭環境も変わりつつあるのは理解できるが、このような状況下で子ども達の安全が守られているのか疑問である。	市立各小・中学校では、児童・生徒が連絡なく登校していない場合、届出のある緊急連絡先へ連絡するなど、速やかな所在確認に努めています。 欠席時の連絡の重要性や緊急時の対応については、引き続き学校と連携し、保護者の皆様への周知により理解促進を一層図るとともに、児童・生徒の安全を確実に守るための取組の充実に努めます。	

No.	意見の概要	市の考え方	反映したものの
42	<p>夜遅くまでの塾通いなども日常化し、午後10時前後の駅前などで多くの中学生を見かける。まずは生徒の安心が守られるべき地域について考えられるようにしていきたい。</p>	<p>本厚木駅周辺における夜間の状況については、地域や厚木警察署をはじめとする関係機関と連携し、防犯パトロールや啓発活動、客引き行為等に対する指導及び取締りを行うなど、安心・安全な環境づくりに取り組んでいます。</p> <p>令和8年4月1日からは「厚木市客引き行為等防止条例」の改正により、指定営業の対象が居酒屋やカラオケ店などに拡大されることから、客引き行為防止対策の更なる強化を図っていきます。</p> <p>また、青少年相談員や青少年教育相談センターの社会教育指導員が日頃から街頭指導や巡回を行うとともに、青少年相談員とPTAの合同パトロールを実施するなど、児童・生徒を取り巻く市街地の環境実態を把握し、少年非行の未然防止と安心・安全な街づくりに努めています。</p> <p>今後も、家庭・地域・学校が連携しながら、こどもが安心して暮らせる地域環境の整備に取り組んでいきます。</p>	
43	<p>学校の通信簿の評価が曖昧で子供がその通信簿を学校から手渡され、内容を確認して一喜一憂する。</p> <p>子供に見えないように渡す配慮、または評価制度がそもそも必要なのかの見直しをはかって頂きたい。(△、◎、など差別化があるがその根拠がよくわからない)</p>	<p>小学校の「あゆみ」や中学校の「通信票」は、国の学習指導要領に基づく評価の仕組みにのっとり、児童・生徒の学習や学校生活の様子を振り返り、成長や課題を保護者の皆様と共有することを目的として、学校ごとに作成しています。</p> <p>一方で、評価の分かりにくさや、児童・生徒が結果を受け取る際の配慮、評価制度そのものの在り方についての御意見は、学校と共有するとともに、今後の取組にいかしていきます。</p>	

No.	意見の概要	市の考え方	反映したものの
44	<p>G I G Aスクール端末の貸し出しはとていいと思う。</p> <p>ただ、中に入っているアプリソフト内の子供が作った作品が学年が変わるごとに全く残らず、せっかく作ったのにゼロになる。</p> <p>このアプリはとても優良なのでぜひ学校で「有料の教育版」に登録していただき、個人の作ったデータを引き継げるようにしてほしい。</p>	<p>現在導入している学習アプリは、プログラミング的思考を学ぶことができる学習ツールとして、市内の複数の学校で活用しているものと認識しています。</p> <p>特定の学習アプリの有料版導入に当たっては、他のアプリとの公平性や費用対効果等を総合的に判断する必要がある、現時点では有料版を導入する予定はありません。</p> <p>今後も児童・生徒の学びが充実したものとなるよう、ICT活用の在り方について研究・検討を進めます。</p>	
45	<p>いつも市民のためにありがとうございます</p> <p>今の時代は、結婚するかしないか、子どもを産むか産まないかなど、人生の選択肢が増えました。</p> <p>学校も、学校で学ぶか、家で学ぶか、フリースクールなど第三の場で学ぶか、一斉授業で学ぶか、自分で組み立てて学ぶかなど中学校くらいからは、学び方を生徒本人が選べると、選択することを学ぶ良い機会、体験になると思います。</p> <p>学校が「社会に出るため」「社会生活の練習の場」であるならば、社会の価値観とズレが少ない方が良いでしょうと思いますので学校もアップデートが必要だと思います。</p>	<p>市立各小・中学校では、児童・生徒一人一人の興味・関心や能力・特性に応じて、学習内容や学び方を工夫するなど、多様な学びを取り入れる取組を進めています。</p> <p>今後も学校が社会生活に向けた力を育む場であり続けられるよう、社会の変化を踏まえて、学びの在り方について研究していきます。</p>	

No.	意見の概要	市の考え方	反映したものの
46	<p>子どもが学校から手紙をもらってきました。</p> <p>私自身は活動をする主宰者はしていませんが、トーキョーコーヒーという拠点が全国にあります。代表は吉田田タカシさんです。川崎市の PTA 全国研究大会でも吉田田さんは登壇されたそうです。</p> <p>厚木市の目指している計画に当てはまるか分かりませんが、厚木市としてトーキョーコーヒーの拠点があるというなと思いました。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>	<p>トーキョーコーヒーは、学校に行かない子どもや保護者の皆様を支えたいという思いをもつ個人や民間団体が共通理念のもとで各地に拠点を立ち上げているネットワーク型の活動で、厚木市内にも拠点があります。</p> <p>本市では、不登校児童・生徒のために、青少年教育相談センターに教育支援教室を設置し、多様な学びの場を提供しています。</p> <p>また、保護者の皆様等を対象としたセミナーの開催や相談体制の充実を図るとともに、相談先をまとめたリーフレットを作成し、周知に努めています。</p> <p>さらに、支援員の配置や専門職の派遣などにより、児童・生徒や保護者の皆様が気軽に相談できる環境づくりに取り組んでいます。</p> <p>今後も、家庭支援を含め、民間の取組や先進事例も参考にしながら、保護者の皆様やこどもの居場所づくりや多様な学びの場づくりについて検討していきます。</p>	
47	<p>中学校の自転車通学を許可して欲しい。</p>	<p>市立中学校の生徒による自転車通学は、交通事故のリスクが高いことから、登下校については、安全面を最優先に考え、徒歩を基本としています。</p> <p>なお、通学距離が長い場合は、学校によってバスの利用を許可して対応しています。</p>	
48	<p>冬休みをもう少し長くして欲しい。</p> <p>2学期までの学業の復習を3学期に向けてできる時間が増えるから。</p>	<p>市立各小・中学校の冬休みを含む長期休業期間については、国の学習指導要領に基づき、年間に必要な授業時数を確保した上で設定しているため、冬休みを延長することは難しい状況です。</p> <p>今後も、児童・生徒の学びがより効果的なものとなるよう努めます。</p>	

別紙2 「その他意見の概要及び対象外の理由」

No.	その他意見の概要	対象外の理由
1	<p>資料にある時間外勤務の統計と、実際の学校現場の実態には乖離があるのではないかと懸念しております。休憩時間が確保できない状況、早朝勤務、持ち帰り残業などが平均値に埋没していないでしょうか。実態の把握は全ての施策の土台です。PC ログの活用など客観的な手法を用いて「本当の勤務実態」を可視化し、業務過多の構造的な要因を分析してください。適正な労務管理は、教職員の心身の健康を守り、ひいては子どもたちの教育の質を担保するために不可欠です。いわゆる働き方改革は時間外勤務の適正化のみを持って行われるものではないと承知しております。それは手段であって目的ではないという視点もあるかもしれませんがやはり最優先されるべき課題であるとも考えます。</p>	<p>厚木市市民参加条例施行規則第4条第2項に規定する項目の不備</p>
2	<p>現在の方針に加え、さらに具体的かつ強力に AI 活用を推進すべきと考えます。セキュリティを確保した環境下（外部遮断・学習利用不可等）での生成 AI 導入は、文書作成、校正、集計業務などの時間を大幅に短縮できます。予算措置を含めた環境整備を行い、事務作業を効率化することで、教職員が子どもと向き合う時間を創出してください。</p>	
3	<p>次期学習指導要領を見据え、厚木市が目指す教育の姿を、広報誌のみならず SNS や多様なメディアを通じて広く発信してください。学校と保護者、地域がビジョンを共有することは、学校運営の円滑化につながります。</p>	
4	<p>教育現場には無数の課題がありますが、全てを学校が担うことは不可能です。「やること（優先順位）」と同様に、「学校が担わないこと（劣後順位）」を明確にし、市民に周知してください。例えば、放課後・休日の見守り業務の分離や、カスタマーハラスメント対応のマニュアル化など、教職員が教育活動に専念できる環境づくりを要望します。</p>	
5	<p>多様な教職員が協働する職場には、高度なマネジメント能力が求められます。管理職等への研修充実や人的支援を行い、チームとしての力を最大限に引き出す体制を整えてください。また、そのマネジメント手腕を適正に評価する仕組みも必要だと考えます。</p>	
6	<p>教職員の資質向上研修が充実している点は評価しますが、本来「自由参加」であるものが事実上の強制とならないよう配慮が必要です。多忙な中でやらされる研修ではなく、教職員が自律的に学び、スキルを高められる環境こそが、結果として保育・教育の質を向上させます。</p>	

No.	その他意見の概要	対象外の理由
7	<p>教職員の業務負荷軽減のため、周辺業務の外部委託をドラスティックに進めてください。校内の施錠、警備、プール管理、下校見守り、HP 作成など、専門性を持つ民間に委託できる業務は多岐にわたります。予算の確保は容易ではないと理解しておりますが、教職員という貴重な人的資源を「子どもへの指導」に集中させることこそが、最大の教育投資であると考えます。</p>	<p>厚木市市民参加条例施行規則第4条第2項に規定する項目の不備</p>
8	<p>将来子供が中学校に入学予定です。</p> <p>中学校の部活はガイドラインが定められていて、休日、平日の活動について休養日を設定することになっているはずですが、学校によっては顧問がガイドラインを無視して活動し、校長教頭も黙認していると聞きます。ある中学校は吹奏楽部をはじめガイドラインを全く守ってないと聞きました。これでは生徒、また主顧問に付き合わされる副顧問も大変辛い思いをさせていただきます。現に休みがなくて苦しんでいる若い先生がいます。教育委員会は各校の部活動の休養日をきちんと把握しているのでしょうか。(事務的に活動日を偽っている学校もあるかもしれません)。管理職は、黙認するのであれば管理していないこととなります。部活動を今後学校に委ねるのであれば、きちんと管理してもらえないと安心して子どもを部活動に参加させられません。</p> <p>合わせて、部活動を学校に委ねるのなら、それに見合った対価を先生方に払ってください。引率の有無に限らず、部活動や仕事で休日に出勤した先生には一般社会に合わせた対価を渡してあげてください。</p>	